

## IFCC General Conference Brussels 2022 報告

報告者 氏名：古田 耕

報告者所属：うらやす和楽苑診療所

### IFCC General Conference Brussels 2022 報告

2022年10月28日から30日にかけて Brussels で行われた IFCC General Conference に参加したのでその報告を下記に記します。

この参加は、私が所属している C-NPU の titular 委員としてのものです。

10月28日に行われた C-NPU の会議では、初めて JCTLM の group と合同で会議を行い、今後 traceability を中心に、さまざまな議論を継続していくことになり、まず「Names and Codes for monitoring Traceability in Laboratory Medicine」という database の作成を共同で行っていくことになりました。

**Welcome Address by the European Commission** (by Loukianos Gatzoylis) では Digital health と Green laboratory が EC の今後の方向性であるとの説明がなされました。

**IFCC: EMERGING STRONGER POST-PANDEMIC** (by Prof Khosrow Adeli, IFCC President) では、New IFCC Vision が示され、今後 Patient outcome、Global Laboratory quality、e-learning/ e-Academy、Evidence based promotion of Laboratory Medicine を重点項目として活動していくことが報告されました。また、Certificate の提供を伴う LIVE Webinar の導入、Francophonie への対応を開始した、もしくは開始することが報告されました。

### IFCC 70TH ANNIVERSARY SYMPOSIUM

#### Central Role of Lab Medicine in Patient Care & Public Health – A Look into the Future

Khosrow Shotorbani からは、Lab 2.0 という概念が示され、検査室の役割を prospective な形にすることで、Sick care model から Health care model へ変えていくという提案がなされました。この発表を補足する形で Dr. David Grenache (AACC)からは、これまでの検査室は Lab 1.0 = volume based であったが、これからは Lab 2.0 = value based というということになるという発表がありました。

Dr. Francis Moussy (WHO)からは、現在の WHO の取り組みとして The WHO Model List of Essential In Vitro Diagnostics (EDL)が紹介されました。

IFCC Science Division の新しい leader となる Prof Christa Cobbaert からは、EU における

IVD に関する議論の紹介があり、これまでの IVDD から LDT を含む IVDR への変更の背景の説明がありました。IVDR の中には、genetic test, immune test, POCT も含まれることになるようです。

## **INDUSTRY FORUM: THE FUTURE OF IVD OVER THE NEXT DECADE**

Anne Skurup (**Radiometer** Medical; Denmark) より sample の取り扱いに関連して IRB の役割について見解が述べられました。

Dr. Frank Vitzthum (**Siemens** Healthcare Diagnostics; Germany)より Clinical decision に寄与する Data management という発表があり、digital twin study を例としての AI の実装について発表がありました。

Els Melis(**QuidelOrtho**, Belgium)からは COVID の経験について発表がありました。

Brendan Meyer(**Becton Dickinson** Life Sciences; United Kingdom)からは、IVD industry と partnership IFCC との協力について発表がありました。

## **IFCC Functional Groups - Reports & Future Plans/Vision**

### **IFCC EXECUTIVE BOARD PRESENTATIONS – OVERVIEW**

Khosrow Adeli から David Kinniburgh から発表がありました。

### **FINANCE REPORT**

Dr. Alexander Haliassos から報告がありました。

### **CORPORATE MEMBERS REPORT**

Joseph Passarelli (Roche) から、Industry 側が IFCC budget の 47% もの contribution を行っていることを強調した報告がありました。

### **SCIENTIFIC DIVISION (SD)**

Prof Philippe Gillery(outgoing)からこれまでの達成事項として、ISO17511-traceability: standardization/harmonization への IFCC の貢献、また、IFCC-BIPM との間の MOU 締結の報告がありました。

Prof Christa Cobbaert(incoming)からは今後の方針として、Proteome 特に MS に重点をおくこと、さらに Next generation protein diagnosis として Immune detection と MS が乖離している点を解決していくことが表明されました。

### **EMERGING TECHNOLOGY DIVISION (ETD)**

Prof Sergio Bernardini からは、Digital future として telemedicine, AI の導入, machine learning の要素があることを要点として発表がありました。

## **SESSION 3**

### **COMMUNICATIONS & PUBLICATIONS DIVISION (CPD)**

Prof Tahir Pillay からは Podcast を開始したこと、eJIFCC として electronic Journal of the

IFCC の提供を開始したことが報告されました。

#### **CONFERENCES & CONGRESSES COMMITTEE (C-CC)**

Prof Päivi Laitinen からは、AI を用いた同時通訳サービス導入を検討していることが報告されました。

#### **NEW IFCC TASK FORCES/PROJECTS**

##### **TF Global Newborn Screening (TF-NBS)**

Prof James Bonham および Dr. Van Leung-Pineda からは、Screening がおこなわれていないところへの支援のころみについて報告がありましたが、Genomic medicine の導入は考慮していないことも補足されました。

##### **TF Global Lab Quality (TF-GLQ)**

Prof Egon Amann および Dr. Qing Meng からは、EQA project が IFCC EQA network として開始されることが発表されました。これに関して、EQA の frequency や sample transportation に関する質問があり、さらに preanalytical phase に関する brief guideline の必要性が要望としてなされました。

##### **TF Global Reference Interval Database (TF-GRID)**

Dr. Jacob Zierk からは、IFCC が Reference Interval database を準備していることが報告されました。しかし、これは、あくまで RI の harmonization を促進するための database であり、IFCC が独自の RI を提供するわけではないことも強調されました。この database の提供に伴い、Toolkit の提供や education を行っていくことが補足されました。

##### **TF Outcome Studies in Lab Med (TF-OSLM)**

Dr. Zhen Zhao からは、EMR を対象とした検査結果の評価を行うことが報告されました。

##### **TF Global eLearning/eAcademy (TF-GEL)**

Dr. Adrian Park からは、Webinar、各種出版物の internet 環境における提供に関する報告がありました。

#### **Outcomes of the GC & new directions for the IFCC**

Prof Khosrow Adeli から会議の締めくくりとして、さらには、ご自分の任期終了を念頭において、今後の IFCC のすすむべき方向性として Breaking silos、短いが concise な形での Practice guidelines の整備が行われること、またこの guideline の中では terms of reference もとりあげられること、Francophonie への配慮も行っていくことが強調されました。

#### **補足事項：**

Prof Khosrow Adeli は 2022 年末で IFCC President の職を去り、 Prof Tomris Ozben が 2023 年から 2026 年にかけてその職を引き継ぐこととなります。